

2021 Martinsancho D.O. Rueda Angel Rodriguez Vidal

マルティンサンチョ(D.O.ルエダ) アンヘル ロドリゲス ビダル

エミール・ペイノーが潜在力を高く評価したプレ・フィロキセラのベルデホ

アンヘル・ロドリゲス・ビダルは、スペインで最も古くから伝わる伝統的なベルデホの醸造文化を守り抜いてきた功労を称えられ、スペイン国王フアン・カルロスより十字勲章を授与された偉大な醸造家です。ビダル家の総面積 70 ヘクタールのブドウ畑は、バリアドリッドのラ・セカの街に程近い小高い土手に位置しています。20 世紀中頃、ブドウの根に寄生する害虫フィロキセラが大発生し、多くのブドウ園が抜根を余儀なくされた中、ビダル家はこの被害を免れ、プレ・フィロキセラのベルデホを守ってきました。

1976 年、ロドリゲスは小石で覆われたラ・セカの痩せた土壌に 17 世紀からビダル家に代々受け継がるブドウ畑から切り出した樹齢 100 年以上のプレ・フィロキセラのベルデホの苗木を植えました。1980 年にマルティンサンチョのベルデホを見に訪れたボルドー大学のエミール・ペイノー博士が「これは良いワインになる」とその潜在力を高く評価したことから、ロドリゲスは、ペイノーと連絡を取り合い、このベルデホからワインを作るようになり、これが DO ルエダ誕生の布石となりました。ロドリゲスは、この時のペイノーの勧めに従い、ルエダで初となるソーヴィニオン・ブランを新たに植樹しました。



【アンヘル・ロドリゲスと樹齢 180 年のベルデホ】

マルティンサンチョの初回ヴィンテージ 1981 年をリリースした翌年にアンヘル・ロドリゲスは国王より十字勲章を授与され、この時の記念ラベルを付けたマルティンサンチョがクリスティーナ王女の結婚式でサーブされました。2018 年、アンヘル・ロドリゲスは享年 88 歳でその生涯を閉じ、今は娘のコンチ・ロドリゲスが四代目エノロガとしてビダル家のワイン作りを引き継いでいます。

■**テクニカル情報**■ 産地: スペイン北西部カスティーリャ・イ・レオン州バリアドリッド (DO ルエダ) 畑面積: 70ha
品種: ベルデホ 100% 樹齢: 45 年以上 (樹齢 100 年以上のプレ・フィロキセラの苗木を植樹) 標高: 680 メートル 気候: 気候変動が多く雨が少ないため、乾地農法・ゴブレット仕立てで栽培。
土壌: 鉄分を多く含む石灰岩、粘土が混合。地表を覆う小石は熱を吸収し、水はけを良くしています。

【**畑**】 標高が高く、厳しい大陸性気候で害虫やバクテリアを寄せ付けない痩せた土壌のため、農薬や化学肥料は一切使用しない完全な有機栽培が可能となっています。(有機農法を採用していますが認定は受けていません。) ベルデホは果粒の小さい葡萄で房も小さく、熟するのが遅いため、大量生産には向かない品種である上に、ラ・セカの土壌は痩せていて小石が多いため、極めて低収量です。このため畑は総面積 70 ヘクタールですが、マルティンサンチョの年間生産量は、僅か 6 万ボトル程。

【**醸造**】 手摘みで収穫し除梗した後、果皮を果汁に漬け込み果実のアロマを抽出。フリーラン果汁だけを使用し、アロマを損なわないよう厳密な温度管理の下で発酵させ澱引きした後、およそ一世紀に渡り使用されてきた伝統的な 5000L の大樽で熟成させ、瓶詰前に清澄。近年、樽の風味を引き出すため、多くの作り手が小型のバリックの使用を始める中、今もこの大樽を使用してワインを作っています。

■**2021 ヴィンテージ情報**■ 2021 年は、生産者にとって厳しい年となりました。冬は大雪に見舞われ気温が低かったため、多くの畑が影響を受けました。特に被害が大きかったのは、カスティーリャ・ラ・マンチャ州地区で、収穫量は最大で 50% 減少しました。厳しい冬が過ぎ、爽やかな春が訪れ、夏は全般的に涼しく、乾燥していました。10 月は好天が続き、昼夜の寒暖差のおかげで豊かな果実味を湛えたバランスの良いワインが出来ました。

2020VT★**ギア・ペニン 90 点**: 緑がかった鮮やかな麦わら色。新鮮な果実や野生のハーブのアロマが香る。フレッシュさと豊かな果実味を湛え、心地良い酸とともにほろ苦い繊細な味わいが広がる。◀**2021 年版**▶



上代価格 **¥2,600 (税別)**
JAN コード: 4543190304887